



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

7月の意向

教皇様の意向のために祈りましょ
【一般】スポーツ
【宣教】信徒宣教師
【日本の教会】隣人愛

信仰弾圧に立ち向かい、1614年6月5日に殉教
福者アダム荒川殉教400年記念ミサ



町、福岡の福岡城跡で行われた。熊本宣教師牧評議会主催で行われたこの記念ミサは、福岡教区内の教会、修道会、熊本県内からだけでなく、島原、北九州からも多数の信徒が参加し、300名の一大イベントとなった。

ミサが始まる前に、大江教会の3人の信徒により、アダム荒川の紹介があり、島原から天草にきたアダム荒川にちなみ、島原から運ばれて来た十字架が天草の信徒に手渡された。記念ミサの十字架が披露された。

熊本地区の司祭団そして宮徒に手渡された。記念ミサの十字架が披露された。

聖霊降臨の主日 教皇フランシスコ
アレルヤの祈りより

聖霊降臨の鍵となる要素は驚きです。わたしたちの神は、まさに驚きの神です。誰も使徒たちが何かを成し得るとは思っていないでした。イエスが亡くなった後、使徒たちは師を失って打ちのめされ、取るに足らない小集団となっていたのです。しかし、予期しない出来事のために驚きが生じます。人々は、自分の故郷のことばで使徒たちが神の偉大なわざを語っているのを聞いて戸惑います。聖霊降臨によって生まれた教会は、驚きをもたらす共同体です。な

ぜなら、教会は、神から与えられた力をもって、キリストの復活という新しい知らせを、愛という世界共通の新しいことばで告げ知らせるからです。新しい知らせとは、キリストが復活し、生きておられるという知らせです。新しいことばとは、愛のことばです。使徒たちは、天からの力をまとい、勇気をもって語ります。数分前には臆病でしたが、彼らはその時、聖霊からいただいた自由のうちに、勇気と大胆さをもって語ったのです。教会は常にこのように

驚いていられるよう招かれています。それは、イエス・キリストが死を打ち負かしたことで、神はいつも両腕を広げて受け入れてくださること、そして、神はいつも忍耐強く、わたしたちを気づかい、いやし、ゆるしてくださることを皆に告げ知らせることによる驚きです。まさにこの使命のために、復活したイエスはご自分の霊を教会に送ってくださいましたのです。教会が生きているのなら、それはつねに驚いているはずで、生きていく教会が驚くのは当然です。驚くことのできない教会は弱くて病んでいて死にそうなので、教会は常にこのように

江戸時代に志岐の教会に仕えていたアダム荒川は、徳川家康の禁教令が出た後も信仰を捨てることはなかった。70歳の高齢ながらガルシア神父に仕え、信徒指導の手伝いをしていた。当時天草全島には15000人ほどのキリシタンがいたとされる。「全部のキリシタンの信仰を捨てさせよ」という命のもと、アダムは捕えられ、9日間も続いた拷問にも屈することなく、さらに60日間にわたって小さな牢に閉じ込められる。信者を通してアダムに棄教を迫るが、アダムは毅然として「わたしの希望は、石や土でできた教会ではありません。また、いつかは去っていく宣教師や、次々と変わっていくものを頼りにはしていません。ただ、神さまだけに希望をかけているのです」と答えた。さらにアダムの息子を無理やり連れてきて説得させるも、子どもが言った。「父上、わたしもあなたと同じように生きてまいります」と。殉教者たちが殉教者たり得たのは、その信仰と信頼、愛に基づいた謙遜のゆえである。ひどい拷問をしのぎ、生命を捨てて殉教をまとうずることは、人間の力の限界を超えることが多い。それを予測しながら、殉教者たちが静かなること水のごとき心境で、この苦難を迎えたのは、神のみ前にへりくだってそのおん助けを祈り続け、そして祈るものを必ず助けたもう神の御力を信頼しきっていたからであった。」(日本キリシタン史：片岡弥吉) こうしてアダム荒川は1614年6月5日に殉教を遂げた。

今、日本の幼児教育の現場は、大きな選択を迫られています。「子ども、子育て支援制度」として国が27年度より実施を予定しており、経営にあたっておられる方々で、これまでの幼稚園であり続けるのか、また、新しいシステムに移行するのか、決断をしなければならぬからです。猛スピードで変化していく社会で大人にとって便利な生活となりましたが、人格形成において最も大切



古巣警神父を迎えて筑後地区信徒研修会開催
高山右近から学ぶ日本の教会の希望

6月15日、筑後地区信徒研修会が久留米教会にて開催され、1000人を超える筑後の各教会から信徒、修道者が集った。講師は古巣警神父(長崎教区)で、「いま、降りていく人へ」と題して高山右近について熱く語られた。最初に古巣神父は集まった信徒に語りかけた。「希望はどこからくるか、これが私の希望です、そのようなものを持つてくるか。日本の教会は希望をよりどころとして承えて来た。その希望とはどこから生まれ、継承されて来たのか。いま教会が差し出そうとしているのはこの右近という人の人生を通してである」と語った。さらに「来年は日本

な幼児期の子どもたちの生活も、大人のスピードで成長をさせられているように思えてなりません。しかしながら、どんな時代にあっても私たち保育者は、神様から委ねられた子ども達をしっかりと抱きしめ、愛情を注ぎ、愛されていることを感じさせてあげる大切な使命があります。個性豊かな子ども達、それぞれの未来に向かって輝いていきます。日々のお祈りを通して、また家庭では体験することのできない沢山のお友達との関わり、行事に向かって練習を重ね大きな達成感を味わい、心身の成長を皆様とともに喜び合えるのは、神様がいつもそばにいてくださるからだ

感謝の気持ちでいっぱいです。たくさん感動を与えてくれる子どもたちとの出会いは、私にとって一生の宝物です。入園当初泣き虫だった子どもたちは、今では年少さんの小さな手を引いてお世話をしてくれる心優しいお兄さんお姉さんに育っています。先代の園長先生がおっしゃった「幼稚園は神の国です。」この言葉を脳裏に思い浮かべながら、好奇心いっぱい目輝かせ、元気な笑い声と愛に満ち溢れた子どもたちの世界のために、職員一同心を一つにして使命を果たしていきたいと思ひます。

政治の世界では「集団的自衛権」の議論が日々メディアで報道されている。日本は戦争が出来る国に向かって走ろうとしている感がある。識者の多くが危機感を持って声を挙げているが、この国の政治家は少しもそれらの良心の声には耳を貸そうとする気配がない。神さまは人間を戦争させるために創ったのではない。互いの幸せを願い、相手の不幸を悲しみ、ともに平和に生きるために創られているはずである。なのに、けんかや戦争が起こる。それは、自分だけがというエゴがそうさせるのである。剣を持って相手を威嚇し、それによって平和を維持しようとするならば、結局いつかはその剣を振り下ろすことになる。列聖されたヨハネ23世教皇は「地上に平和を」という回勅のなかで、武力に訴えることによつてではなく対話を、相互信頼を、と繰り返し述べておられる。平和は軍備の均衡によつて得られるという考え方を捨てて、軍備を増強するのをやめ、宥和政策を求めておられるのである。この回勅は第2次大戦後、世界は豊かな国と貧しい国の格差、すなわち南北問題そして、共産主義と民主主義の対立、すなわち東西冷戦の只中に発表された。しかし50年が経過した現代においても教皇様のお言葉はなお輝きを放っている。平和は黙っていてもたらされるものではない。為政者にだけ任せておいてよいものでもない。私たちひとりひとりが真の平和の実現に向けて行動することこそ主は求めておられる。「平和を造り出す者は幸い、彼らは神の子と呼ばれる」



福岡教区 本部会計 2013年度会計報告

＜収入の部＞		
科 目	決 算	
(宗教活動収入合計)	103,558,622	
【援助金収入合計】	23,532,487	
神学校援助金	23,532,487	神学校後援会費一口月300円
【寄付金収入合計】	5,696,315	
一般寄付金収入	525,815	
指定寄付金収入	5,160,000	
司祭寄付金収入	10,500	
【特別献金合計】	784,877	
広報活動援助献金	705,980	教区報への公告協力など
その他特別献金	78,897	
【分担金収入合計】	76,148,543	
小教区分担金収入	45,080,351	教会維持費とミサ献金の15%
幼稚園分担金収入	4,394,355	教区の宗教法人立幼稚園より
租税分担金収入	2,961,137	消費税、法人税など
その他分担金収入	23,712,700	福岡コレジオ改築費として長崎教会管区より
(資産運用収入合計)	38,893,275	
財務預金取崩収入	30,000,000	財務特定預金を取り崩して資金勘定へ
受取利息	149,779	
雑収入	7,901,536	ミサワイン、コピー代など
電柱敷地料	106,960	
資産利用料収入	735,000	
【当年度収入合計】A	145,055,497	

＜指定献金＞		
児童福祉献金	2,821,912	1月最終日曜日
四旬節愛の献金	2,976,592	四旬節中
聖地エルサレム献金	728,685	聖金曜日
広報の日献金	1,446,523	復活節第6主日
聖ペトロの使徒座献金	1,400,060	6月29日直前の日曜日
世界難民移住移動者の日献金	1,472,485	9月第4日曜日
世界宣教の日献金	1,449,407	10月最後から2番目の日曜日
宣教地司祭育成の日献金	1,503,554	12月第1日曜日
臨時指定献金	2,154,136	
カテドラル献金	843,320	教区司教座聖堂(大名町)のため

＜支出の部＞		
科 目	決 算	
【宗教活動費合計】	17,412,631	
祭儀行事費	3,492,771	
司祭研修費	2,653,315	研修会、黙想会、総会、教区司祭の集い
委員会活動費	1,136,586	
宣教広報費	3,532,628	教区報印刷、送料など
布教活動費	1,537,837	召命ポスターやクルシリヨなど
教育養成費	4,466,244	神学生やその候補生の学費、生活費など
図書資料費	419,100	
会議費	25,150	
諸会費	99,000	
慶弔費		
寄付金支出	50,000	
【その他宗教活動費合計】	17,032,295	
諸団体納付金支出	410,840	駐日教皇庁大使館事務費等
神学生養成費支出	16,621,455	大神学院、長崎神学院、日本語学校
【助成金支出合計】	1,892,226	
小教区助成金支出	1,892,226	
【教区納付金支出合計】	7,600,840	
中央協議会分担金支出	3,220,000	カトリック中央協議会へ
その他分担金支出	4,380,840	
【管理運営費合計】	35,515,337	
消耗品・消耗備品費	3,269,401	
通信費	1,230,242	
旅費交通費	2,633,023	
自動車諸費	2,342,146	
水道光熱費	4,084,716	司教館、司祭の家、東光町、花岡山、門司港等
交際接待費	194,955	
営繕費	5,263,410	福岡コレジオ改築費教区負担3,120,174円含む
賃借料	3,502,321	
報酬委託手数料	8,703,816	会計事務所、顧問弁護士、労務士など
租税公課	2,654,452	
損害保険料	1,609,480	
雑費	27,375	
【人件費合計】	65,263,757	
司祭給与	27,403,500	司教、教区本部から支給する司祭
職員給与	31,303,550	司教館職員・ハウスキーパー、ブラザー、シスター
雑給	478,895	
法定福利費	5,852,179	社会保険や労働保険の事業主負担分
福利厚生費	225,633	
【当年度支出合計】B	144,717,086	
【当期収支差額】A－B	338,411	

神学校費で協力有難うございます。神学生が増えておりますので、今後とも神学校費、教会維持費のご協力をお願いいたします。 教区会計 松井忠之神父

カテキズムを学ぶ⑩

神はなぜ人間とられたか

稲垣良典

『使徒信条』は、「天地の創造主、全能の父である神を信じます」に続いて「父のひとり子、私たちの主イエス・キリストを信じます」と宣言します。創り主である神は、私たちの罪を赦し、贖つてくださる真の救い主であるという信仰告白です。『ニケア・コンスタンチノープル信条』では「主は、私たち人類のため、私たちの救いのために天からくだり」と、救い主イエス・キリストは、父のひとり子である真の神が人類の救いのため

に人間とられた御方であることが宣言されています。これは「福音（悦ばしい報せ）」そのものです。父なる神のひとり子であり、「初めに神とともにあり、神である」永遠の言が肉となって私たちの間に宿られた、と『ヨハネ福音書』の冒頭で告げられる救い主イエス・キリスト、福音の全体がそこに集中しています。私たちが、福音を信じ、それを全ての人に宣べ伝えようとするとき、その中心には神の永遠の言が（人類の救いの

ために）肉となった、という「受肉の神秘」(Mysterium Incarnationis) がなければならぬことは明らかです。キリストを信じる、とはこの受肉という「信仰の神秘」を信じることだからです。しかしキリストについてのそのような見方については行けない、私が信じ、そして人々に伝えたいキリストとは、貧しい者、苦しみ虐待されている者の側に立ち、空の鳥、野の花を見よ、と説く愛と癒しの人、ナザレのイエスだ、と言いたい方もあるでしょう。「受肉の神秘」のような難しい教えが、神の愛を生き生きと感じさせるイエス・キリストの福音と

う反論する方が多いかもしれません。しかし、私たちは「受肉の神秘」は難しい教えで、神学者たちだけの問題だ、という思い込みを逆転させる必要があります。それは実は神ご自身が直接に行われた業であり、神の最も不思議な業だからです。それは神の本質を、つまり私たちが「神」と呼びかけているのはどんな御方であるかを親しく示して下さる業なのです。無限、永遠なる神、創り主である神が人間になられた、それは人間の理性を全く超える神秘であり、不条理としか言いようのない謎です。しかし、そこで神は私たちをご自身との交わりに招くために、自らの生命、限り

ない知恵と愛を示して下さいます。「神はなぜ（クルーデウス、人間（ホモ）とられたか」は12世紀の偉大な神学者アンセルムスが、イスラム教徒やユダヤ人などの「受肉」は神の全能や知恵を否定するものではないか、という異論に対して「受肉」は人類の救いのために必要であったことを、聖書に頼らないで、理性によって論証することを試みた著作の題名です。アンセルムスはもちろん「受肉」は神の知恵と愛に基づく神の業だ、という信仰から出発して探求を進めています。私たちも神の愛を深く味わうために「受肉」の神秘に近づきましょう。

カンボジアからの報告②

子どもたちの元気良さは、コンポルアン(カンボジア、トンレサップ湖の水上市)とも同じでした。子どもと遊ぶことが好きな私は一緒に遊んでいました。しかし私の体力では子どもたちについていけずに疲れ果てていました。

また神父様が家庭訪問をされることで、私たちも同行させて頂きました。その中でポリオに感染している子どもは、次の日にはプノンペンの施設に送られるとのことでした。私が活動を開始したら、病人支援も行っていくます。そして状況に判断して、

薬代、病院への交通費の支援、プノンペンの施設に送り出す事などを行ないます。しかし実際に支援する現場にいて感じたことは、支援する側と支援を受ける側とに信頼関係がないと難しいことかと感じました。親が子どもを送り出す事は簡単に決断できない事だと思ひますし、家庭の状況が把握できていないと送り出す事も難しいのかと思ひます。また薬代を支援する際も、ただお金を渡すだけでなく、その家の家庭状況を把握するためにも、家庭訪問は欠かせない事も教わりました。

信徒宣教師 井手 司

【奉献者のための黙想会】

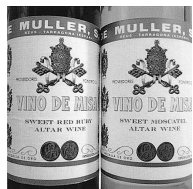
日 時:7月11日(金)夕～19日(土)朝
テーマ:山上の説教をゆっくり読む ―あなたがたは一緒に生きて行きなさい―
講 師:来住英俊神父(御受難会)
参加費:80,000円(指導費用含む)
申込み締め切り:7月7日(月)

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

〒811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
E-メール f-mokuso@fmokuso.com (アドレスが変更になりました)



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

T E L 092－526－5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

第二バチカン公会議による教会⑦

司祭になったころ、何となく嬉しくて、また使命感に燃えていたのかも知れませんが、司祭服（ローマンカラーのシャツ）をいつも身に着けて出歩いていました。ある時、デパートの店員さんから「何ですか、それは？」と聞かれ、「カトリック教会の神父のシャツです」と自慢げに答えました。そしてその店員さんから「まだ修行中でしょう」と言われ、少し腹が立ったのを憶えています。今もそうです

「修行」はある事柄の知識を深めたり、ある技芸を磨いたりするために、努力して学び訓練することです。カトリック教会の中では「修練」や「修徳」という言葉を想起させますが、それよりもっと広く行われている「修行」があります。それは、「信心業」です。「信心」はキリスト者の「善を求めるあらゆる願いと信仰の働き」（Ⅱテサ1, 11）を表すもの、或は神への奉仕に喜んで身をささげようとする意志です。そしてその「信心」を培うもののひとつが「信心業」です。第二バチカン公会議も大いに勧めています（典礼憲章13番）。

信心業は典礼を含めてそう呼ばれるときもありますが、大抵の場合は典礼と区別されます。具体的には、聖母崇敬、聖体訪問、聖体礼拝、巡礼、ロザリオ、十字架の道行き、良心の糾明、黙想、聖遺物の崇敬、メダルの着用、九日間の祈り（ベナ）などです。これらは往々にして、人々にとって典礼祭儀への参加や典礼祭儀の意味の理解が困難な時や、人々が信仰の危機に直面したときに発展してきたものです。本来典礼

が果たすべきことですが、典礼が様々な理由で人々にとって近づきにくいものであった場合に、典礼祭儀に向けて、また典礼祭儀に代わって実践されてきました。典礼祭儀（例えばミサ）がラテン語で挙行されていた時代、ロザリオや他の様々な祈りが「外陣（信徒席）」で唱えられていました。また聖体の秘跡への信仰が危うくなると聖体に対する信心業が盛んに行われるようになりました。そして、人々の信仰を守り育んできました。「信心過ぎて極楽を通り越す」という言葉があるそうです。「信心も度が過ぎると、か

えつて害を及ぼす」ということです。教会は依然としてこの信心業を勧めています。私たちの信心行為は、典礼の季節を考慮して整えられるべきであり、聖なる典礼に則し、何らかの形で典礼に由来し、人々を典礼に導くものでなければならぬ（同13番）の原則によつて、信心業の内容や実施の方法を見直すように促しています。特に現代の典礼祭儀は、以前よりも理解しやすく、参加しやすいものになっています。キリスト者が典礼についての理解を深める努力をすることなく、安易に信心業へと向かうのは、キ

リスト者本来の生き方ではないでしょう。信心業は典礼祭儀の「練習」のようなものです。練習（信心業）のない本番（典礼祭儀）がないし、本番（典礼祭儀）がないと練習（信心業）の意味もありません。バランスが大切です。先日、90歳を超えておられ、私を同じ故郷の出身で同級生だと思ってくださっているシスターにお祈りを頼まれたとき、「私は不信心ですから」と答えたら、すかさず「不信心でも神父になられるとね？」と言われ、まいりました。まだまだ修行中です。（櫻井尚明神父）

東日本大震災、すべてを失い、荒涼とした被災地に立ちつくす人々。「もし神がほんとに愛なら？」切実なこの問いかけへの一つの答え、神についてのユニークな考察。女子パウロ会 発行 税込価格 1404円

6月3日（火）「雨風が強くなり、予報でしたが雨にもあわず、お恵みを感じたし集合場へ。128人の参加との事。久しぶりの再会を喜び合い、あちらこちらでご挨拶も交わされ、大分中津教会へ出発しました。中津教会は、中津のキリスト教の歴史は、黒田官兵衛（如水）が今から400年前居城を定め、山口からゴメス神父を招き、復活祭を祝ったことが始まりです。その後弾圧が激しくなり、中津でも多くの殉教者を出しました。一時教会は閉鎖されましたが、1887年、パリ外国宣教会のベレル神父が最初の洗礼を行い、中津

今回の研修先がフィリピンでよかったと思っていいます。もしも、研修先がアメリカやイギリスだったら、自分の英語能力の低さに、ただ失望・落胆して帰ってきたかもしれない。フィリピンのEAP Iというアジア各国・世界各国から受講者が集まる研修所で、（英米人の母国語として）の英語ではなく、いろいろな人が使う国際語としての（様々なレベルの）英語に接することができたお陰で、ネイティブレベルからは程遠い自分の英語を「ま、これでいいのかも」と、ある程度受容できようになりました。そして、英語の使用に関しても、

「井手公平神父の奮闘記②」

より重要なのは、「流ちょうにしゃべれる」ということよりも、「何を伝えるのか・伝えようとするのは何なのか」ということではないか。アジア各国の受講参加者が多く、アジアの教会の活気というものを感しました。特にインド人グループは存在感がありました。参加者数が多かったことも一因ですが、（強い）お国なまりがあるとはいへ英語能力がハイレベルで、その発言からは、頭のいい人たちが多いという印象を受けました。

「宣教司牧には、聖書だけでは不十分」なんて言ったら誤解を招くでしょうか？聖書は窮め尽くせない偉大な書物、私たちの信仰生活の中心にあるべきものですが、EAP Iのディレクターの話によれば、「宣教司牧の具体的な手段・方法を導き出そうとして、聖書だけに集中しすぎるのは危険」なんだそうです。私もそう思います。私たちの日常生活上の・宣教司牧上の具体的な問題に対する答えが、すべて聖書に記されているわけではない。むしろ、答えは少ないと言っている。これからの私たちには、聖書を中心に据えながら、世の一般諸科学の成果をも宣教司牧に適用・応用してゆくということが求められるかとは思いますが、「日頃の小さな教会・幼稚園に関する務めをこなしながら、勉強する」ということは困難を極める」ということを感じる今日この頃です。（大牟田・荒尾教会主任）

「キリスト教信仰を伝えるための新しい福音宣教」をテーマとした世界代表司教会議（シノドス）後の使徒的勧告。「熱意と活力に満ちた宣教の新しい段階」への歩みを望む教皇の思いが力強く表現された、希望と励ましに満ちた文書。カトリック中央協議会 発行 税込価格 1600円

「あなたは神とは？」



黒田如水の足跡をたどって

小教区を設立しました。教会の入り口左手には、マリア様がイエス様を日本風に横向きに抱く珍しい聖母像がありました。聖堂内には、フアティマのマリア像、そして聖堂は窓ガラス48枚すべてが色鮮やかなステンドグラスで埋めつくされていました。圧巻でした。久しぶりの巡礼旅行が、黒田官兵衛ゆかりの地と聞き、ぜひ参加したいと思っていま

カトリック正義と平和 全国集会 2014 福岡大会

いのちを大切にする社会をめざして
ー見て、聞いて、知って、働くー
日 時：9月13日（土）～15日（月）
主会場：カトリック大名町教会
～大名町教会での主な日程～
第1日目：9月13日（土）
14：00 開会式
15：00 基調講演 済州教区長姜司教
17：00 高校生平和大使
第2日目：9月14日（日）
11：00 講演会 M・シーゲル神父
午後は事前申し込みに従って分科会
第3日目：9月15日（月）
9：30 シンポジウム パネリスト 奥田知志牧師 大塚喜直司教
11：00 派遣ミサ
12：30 閉会式
大会参加費：全日参加で1,000円
主 催：カトリック福岡教区
共 催：日本カトリック正義と平和協議会
主 管：第38回カトリック正義と平和全国集会 2014 福岡大会 実行委員会

☆虐待の傷を癒やすセラピー

BOOK 読は専科

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール
FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時～PM 5時40分
日・祝日/AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

